

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年2月13日 (2014.2.13)

【公開番号】特開2012-131959(P2012-131959A)

【公開日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-287393(P2010-287393)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/04 (2006.01)

B 6 0 S 1/38 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/00 (2006.01)

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

C 0 8 L 61/20 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 167/00 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

C 0 9 D 161/20 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/04

B 6 0 S 1/38 B

C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 33/00

C 0 8 L 75/04

C 0 8 L 61/20

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 167/00

C 0 9 D 133/00

C 0 9 D 161/20

C 0 9 D 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月20日 (2013.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

ワイパーブレードなどの形状を主に形成するエラストマーは、その韌性故に、表面形状に比較的凹凸を生じやすい傾向があると考えられる。特許文献 1 にはワイパーブレードの表面に減摩塗料と記載される前述のバインダー樹脂と同様の樹脂を含む塗料を用いて塗膜を形成した後、特定の粒子径を有するポリアミド樹脂やポリエチレン樹脂を含む塗膜を形成することで、摺動性だけでなく払拭性も含めた挙動全般の適合をなし得ると開示されている。これは前記ワイパーブレードのエラストマー部位の表面の凹凸を、先ず塗膜形成によって平滑性を向上させているのではないかと考えられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 3 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 3 4 】

前記塗装体 - 2 をトヨタ自動車製アルファード（型式：C B A - A N H 1 0 W）のワイパーアームに装着し、J I S - D 5 7 1 0、1 9 9 8 に準じ、雰囲気温度 2 7 、湿度 6 5 % でふき性能試験を行い、目視で確認されるライン数で評価した。ライン数が少ないことが良い結果であることを意味している。結果を表 4 に示した。